

つながる・ひろがる交流会～梅森坂学区～

日時：平成 29 年 12 月 13 日(水)

14:00～15:30

場所：名東区役所 講堂

テーマ 「地域支えあい事業」について

1 概要

梅森坂学区では「お互い様」の復活を目指して平成 28 年 10 月から「地域支えあい事業」を実施している。コミュニティセンターに窓口を設置し、週に 2 回相談窓口を開設している。この事業は高齢の方などが困ったことがあった時に、ご近所の方がボランティアとしてお手伝いをして困りごとを解決するというもので、ご近所ボランティアコーディネーターがボランティアを必要とする方とボランティアをつなぐ役割を果たしている。



2 課題

- ・気軽に集える場としての相談窓口の雰囲気作り。
- ・チケット制や地域通貨の導入など学区でさらに普及しやすくする制度への改革。

3 意見交換の主なやりとり

(質問 1) 〈区政協力委員〉

64 名のボランティアスタッフはどのような方が登録されているのですか。

→ (回答) 〈社会福祉協議会 主事〉

最初に声をかけさせていただいた、民生委員さんや区政協力委員さんが多いかと思いますが、そのほかにも、認定事業として梅森坂の 5 つのサロンを登録させていただいているので、そこで動いていただいている方や、ふれあい交流広場でのボランティア募集の際に登録していただいた方など様々です。

(意見 1) 〈区政協力委員〉

私どもも同じ時期からスタートしています。ボランティアコーディネーターの方がかなり頑張っておられておられます。この事業を進めようと思うと、ボランティアコーディネーターに良い方を選定されてやるということが非常に大事なかなと思いました。実際にスタートしてみて困っていることは、やはり偏りが出てくることです。たとえば相談時にある程度のルールを決めておいて、回数や中身など十分お互いに理解したうえでやっていくことも大事かなと思います。

(意見2)〈社会福祉協議会事務局長〉

使う方が無料ということでかえって使いづらいのではないかという意見も全市で出てきております。現在市の社会福祉協議会から名古屋市に各学区の独自の展開の方法を認めてほしいと要望をしておりますので、来年度からは、少し柔軟な考え方が出されるのではないかと考えています。

(意見3)〈民生委員児童委員〉

名古屋市がやっているシルバー人材センター、ここに高齢者の方が電話すれば、それに対応する人間が派遣されて手伝ってくれるという事業もある。しかしここは数少ないことしかやってくれないし、1回いくらという負担は当然かかってくる。だから地域支えあい事業も全面的に無料ではなくて多少の手数料、たとえば1回10円とか50円という形でとれば相手もやってほしいという気持ちが出るのではないかと思います。

(意見4)〈コミュニティサポーター〉

ボランティアはいるけれど相談してくれる人がなかなかいないという同じような悩みを抱えているのかなと思います。「これをすれば相談者が増える」といういい解決策もなかなかない中で私なりに他学区の事例とか、直接支えあい事業とは関係ないのですけれど、調べて、いくつかポイントがあるのかなということで少しお伝えしたいと思います。一つ目は頼みやすい環境づくり、二つ目は積極的な働きかけ、三つ目は引きこもりがちな人や交流をあまりしない人を引き出す仕掛けを作る、四つ目は無料で何かを配布するついでに声を拾う、五つ目は広報誌で活動事例を紹介する。このようなことをしながら、いろいろなアイデアを出し合って、これからますます発展して盛んになっていくといいなと思います。

4 まとめ

〈梅森坂学区連絡協議会会長〉

いろんな知恵を絞って、みなさんと相談しながら、学区の中でも会議を实际やりながら試行錯誤しながらやっています。オーダーメイドで、梅森坂でやれることをやればいいのではないかなと思っています。貴重な皆様のご意見をいただいて明日からの地域支えあい事業を進めていきたいと思っています。

〈名東区長〉

名東区と一口に申しましても19学区それぞれ本当にいろんな特徴がございます。地域性がありますので、ここでできていることが、同じやり方で他の学区でできるとか、そういうことでは全然ないと思いますので、先ほど社会福祉協議会の内山事務局長からもありました通り、私自身も意見を伺ったことがあるのですが、ポイント制が逆に障害をしている、今まで本当のボランティアでやっていたことがポイントとして結果的にお金のようには換算されることが嫌で進まないというご意見をうかがったこともあります。市の方で少し見直しをされるということも伺いましたので、これからそういう意味では、それぞれの学区に応じた展開ができるのではないかなと少し期待をしているところでございます。